

子どものごみ減量行動規範形成に及ぼす友人と親の影響

依藤佳世¹・安藤香織²

(1(社)国際経済労働研究所・

2奈良女子大学生生活環境学部)

目的

- これまで、小学校高学年を対象とした調査により、子どものごみ減量行動における社会的規範、個人的規範の重要性、および、それが親自身の行動呈示や注意・賞賛などから受ける影響が明らかにされてきた(依藤・安藤・大沼・杉浦,2009;2010)

- 一方で、子ども時代に受ける影響は、Bower (1979 鯨岡訳, 1982)では、少なくとも中1まで一緒にいたい集団が家族であることを示し、その後、仲間集団との関わりが増えてくることを示している。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1
家族	75.2 %	65.9 %	62.1 %	51.9 %	20.9 %	21.2 %	15.2 %
中間的*	15.8	24.4	25.0	22.2	39.1	37.6	29.1
仲間	8.9	9.8	12.9	25.9	40.0	41.2	55.0

* 他の集団(たとえばずっと年長の友だち、あるいはずっと年少の友だち)を好んだ場合、あるいは家族、仲間のどちらとも差がつかなかった場合。(Bowerman & Kitch, 1959, いくつかの研究データに基づく)

- 本研究では、小学校高学年児童が影響を受ける集団について過渡期にあることを鑑み、ごみ減量行動における規範形成において、親から受ける影響と友だちから受ける影響の強さについて検討を行う。

方法

- 調査対象者
 - N市在住の小学校高学年児童とその保護者。
 - 2年間のパネル調査に協力の得られた2つの小学校の児童とその保護者が分析対象。
- 調査期間
 - 2008年1～2月（以下ではT1）、2009年1～2月（T2）に、約1年間の間隔をおいて調査を実施。
 - T1には4,5年生の全員290組に質問紙を配布し、T2には1学年上がって5,6年生288組に追跡調査を行った。

調査項目

- 個人的規範
 - 「環境のために、自分は使った紙を分けるべきだと思う」など2項目。
- 命令的規範
 - 親に関しては、「自分の親は、わたしに使った紙をほかのごみとは分けてほしいと思っている」、などの2項目。
 - 友だちについては「友だちは、わたしに『使った紙を他のごみと分けてほしい』と思っている」と尋ねた。
- 記述的規範
 - 「自分の親は、使った紙を他のごみと分けている」等2項目。
 - 友だちについては、「友だちは、いつも使った紙を資源回収に出すために取っておいている」の1項目。

結果

- 有効回答数と回答者の属性
 - T1 222組（有効回答率 76.6%）、T2 225組（有効回答率 78.1%）のうち、追跡調査のための識別番号を記入し、分析項目に欠損のない134組（有効回答率 46.5%）を対象とした。
 - 子どもの性別は男61名、女72名、不明1名。
 - 親の性別は女134名、年齢は40.9歳（SD=3.71）であった。

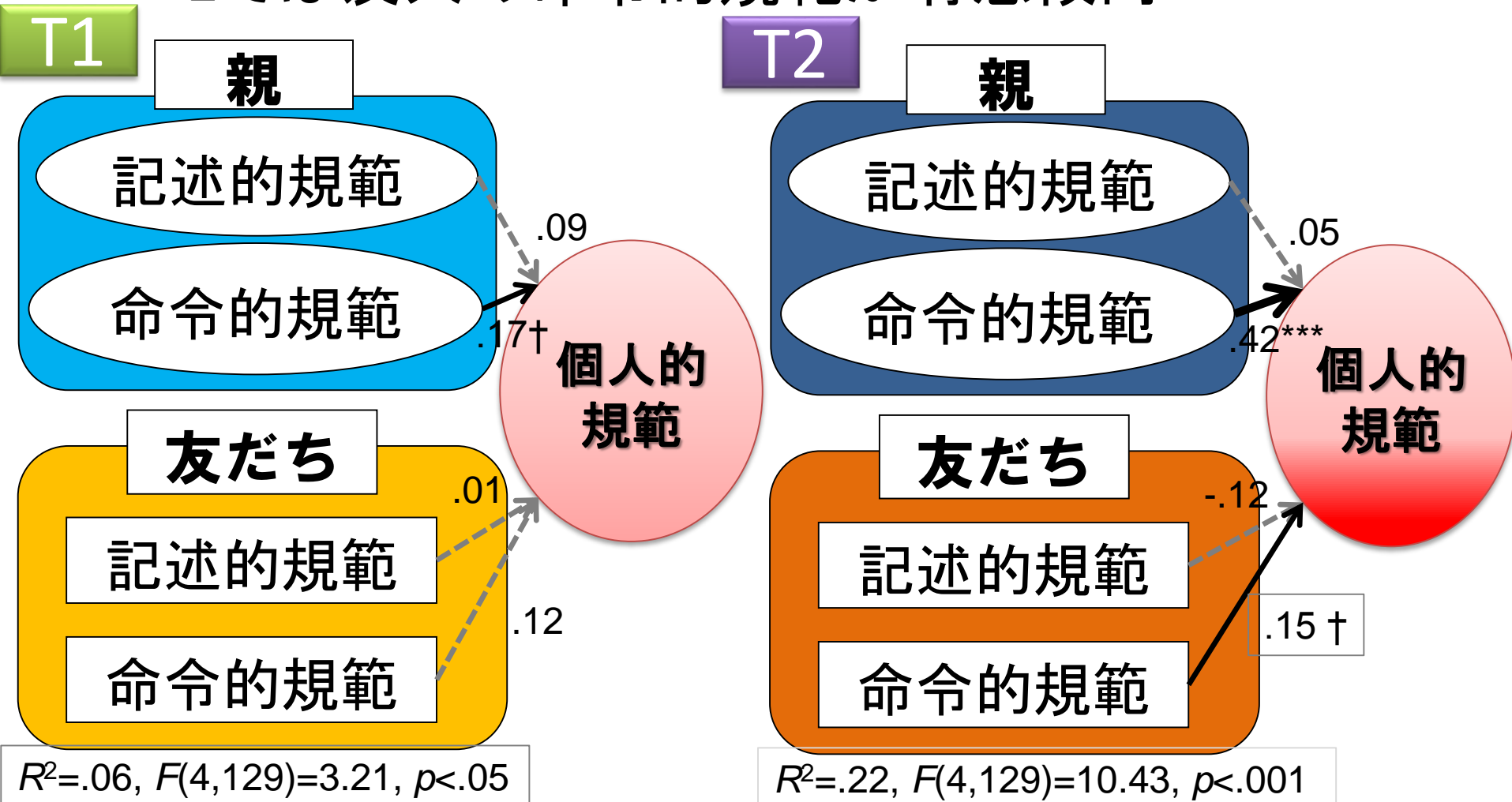
友だちからの影響における 年度・学年差

- 友だちからの影響の年度および学年ごとの数値の変化について見たが、差は認められなかった (Table 1)。

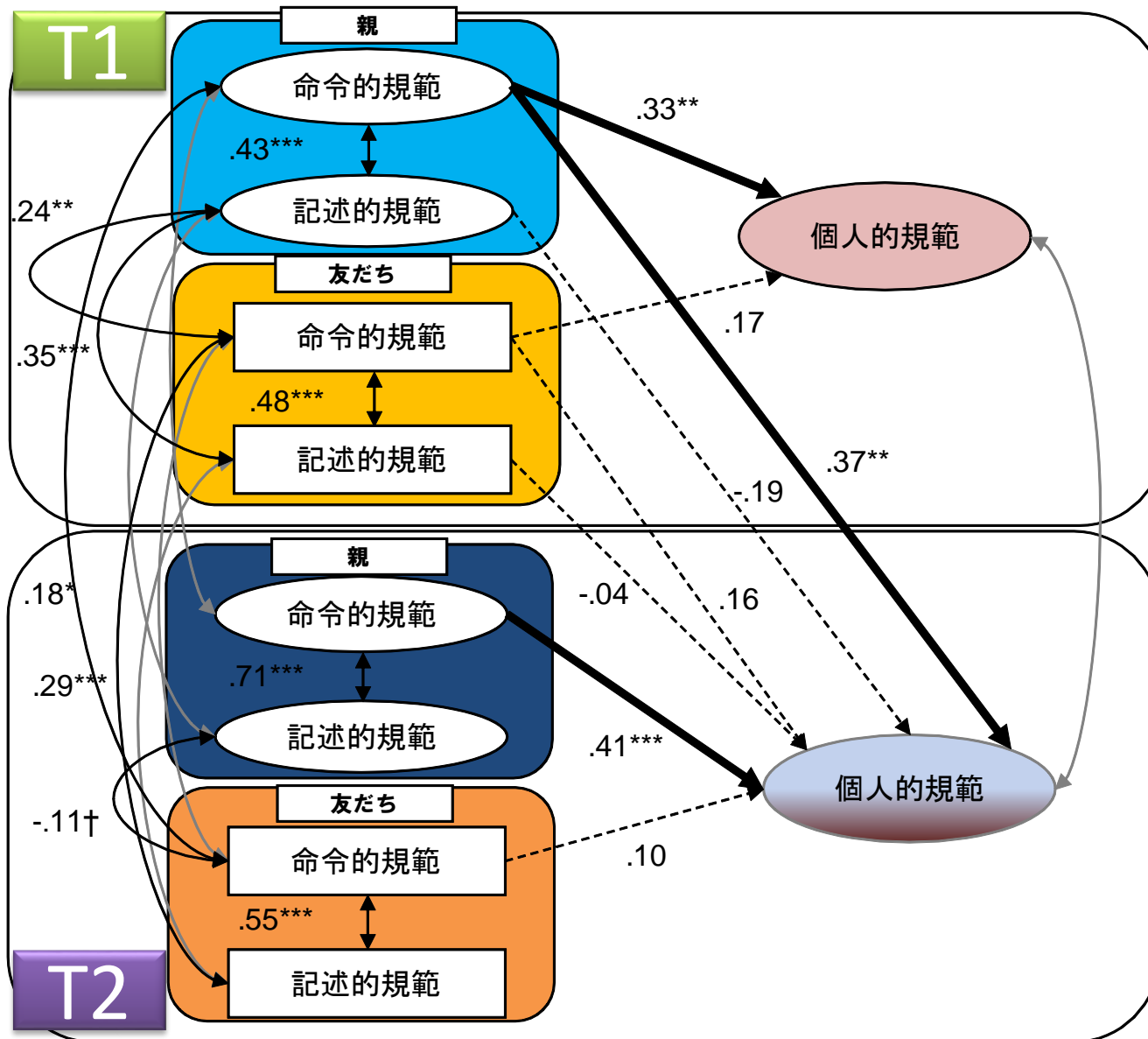
	T1				T2			
	学年	N	M	SD	学年	N	M	SD
記述的規範								
友だちは、いつも使った紙を資源回収に出すために取っておいている	4	66	3.18	0.93	5	66	3.08	1.09
	5	68	3.04	0.89	6	68	2.96	0.85
命令的規範								
友だちは、わたしに「使った紙を他のごみと分けてほしい」と思っている	4	66	2.95	1.01	5	66	2.98	1.09
	5	68	3.07	1.04	6	68	2.84	0.96

子どもの個人的規範に及ぼす親と友人の影響

- T2では友人の命令的規範が有意傾向



- T2の個人的規範にT1の友だちに関する命令的規範、記述的規範の及ぼす影響を確認するために共分散構造分析を行った。
- T1、T2において個人的規範に影響を及ぼしたのは親に関する命令的規範であった。
- T1の命令的規範とT2個人的規範間の関連でも、友だちに関する命令的規範は有意な関連とならず、親に関する命令的規範のみが有意な関連を示した($p < .01$)。



$\chi^2(77)=93.892, p<.10, GFI=.921, AGFI=.861, RMSEA=.041, CFI=.980$
 *** $p<.001$, ** $p<.01$, * $p<.05$, † $p<.10$
 観測変数、および誤差、誤差相関は省略した。
 また、同変数の異時点間の相関についても省略した。

考察

- 本研究の結果からは、小学校高学年児童のごみ減量行動に関する個人的規範形成には、親の社会的規範がより強い影響を及ぼすことが明らかになった。今後、他種のごみ減量行動において、友だちの持つ影響とその機能についての検討が課題となるだろう。